

ニュース

○最近の私鉄の動き

1. 帝都高速度交通営団第4号線起工

戦後急速に発展を遂げた池袋と都心とを結ぶ第4号線の建設工事が迂余曲折はあつたが、施工認可を得て去る3月30日起工式を挙行した。

この路線は池袋—お茶の水—神田—東京—赤坂見付—四谷—新宿の一部で池袋—神田間 7.6km で住宅地帯、学校地帯、都心とを結ぶ通勤通学に最も利用度の高いものである。経路は高燥地帯で地質も良好で起伏に富んでおり、一部 2.2km 間は地上式である。他は地下構造であるが、鉄鋼価格の昂騰の為鉄骨をやめ鉄筋コンクリート函形ラーメンとする設計である。停車場は池袋、大塚辻町、清水谷町、後楽園、本郷三丁目、お茶の水、神田の七駅で清水谷町と後楽園は地上駅となる。線路規格は軌間：1.435m、軌条：50kg、電圧：600V第三軌条式、保安は自動閉塞方式となつてゐる。工事は池袋方より順次着手し、国鉄技術陣も応援することになつてゐる。

工期は3ケ年で建設費は車輛費を含み 48 億円程度と予定されてゐる。

2. 川崎市トロリーバスの開業

戦後初めてのトロリーバスが去る3月2日から川崎市に出現した。アメリカでは中都市の最も経済的近代交通機関として相当普及されてゐるが我が国でも続々運行されることになつてゐる。この路線は川崎市内人口稠密地帯を貫き路面電車と連絡するもので川崎駅前—櫻木間 4.2km である。現在使用してゐる車輛は東芝製3輛、三菱製3輛、東洋電機製2輛、計8輛で何れも単車型 140 馬力程度のものである。

トロリーバスは軌道を要しないこと、動力が経済的であること、輸送力の大きなこと、騒音を発しないこと、保守、補修費が僅少であること等色々利点が多いので将来性があり川崎市の今後の成果は大いに期待されてゐる。

3. 岩手開発鉄道の開業

東北開発の一環として、石灰石木材等の豊富な資源開発の為の本鉄道は昭和 15 年以來の懸案であつたが昨年 10 月 21 日遂に盛一日頃市間 6.6km の工事が竣功、営業を開始した。工事概要としては

| | |
|------|-----------|
| 動力 | 蒸気及び重油 |
| 軌間 | 1.067m 単線 |
| 最急勾配 | 25/1000 |
| 最半半径 | 250m |

建設費 約 4000 万円

主な構造物としては支間 13m、13 連のコンクリート橋梁と千刈隧道 10km 外 4 ヶ所の隧道がある。

4. 最近免許を受けた鉄道

筑豊電鉄：西日本鉄道株式会社が主となつて北九州工業都市群と筑豊炭田と福岡市とを直結するもので、黒崎—直方—飯塚—福岡間 59.2 km である。現在筑豊炭田地帯と福岡市、北九州工業諸都市との連絡は不便であつたが、本線路によつて著しく短縮される。この内飯塚—福岡間には山岳多く 5.2km の長大な隧道工事が必要である。工事概要としては、軌間 1.435m 複線、軌条 37kg 電圧 1500V 保安方式は自動閉塞式、建設費は 19 億 5 千万円

静岡鉄道：静岡鉄道本線と藤相線（軌間 0.762m）とを連絡する 静岡—相川間 27.5km で附近農漁村と静岡市とを直結する外駿遠線沿線諸町村の弱小輸送力を補うものである。工事概要としては軌間 1.067m、単線、軌条 30kg、動力電気、建設費は約 4 億円である

水間鉄道：水間鉄道を粉河迄延長せんとする水間—粉河間 22.4 km で紀川農林産地帯と泉南工業地帯とを直結し更に大阪市への最短経路たらんとするものである。工事概要としては軌間 1.067m 軌条 30kg 動力電気、建設費は約 3 億 8 千万円である。

和歌山鉄道：和歌山鉄道を粉河迄延長せんとする貴志—粉河間 12km で紀川農業地帯と繊維工業、学校地帯とを直結し、前者の工事と共に首尾一貫したものとなるであろう。工事概要としては軌間 1.067m 軌条 30kg である。

姫路市のトロリーバス

市周辺の住宅地と都心とを結び、市内電車のない同市が通勤輸送を担当するものである。路線は姫路駅前—伊広居間、綿町—下手野間本町—市川橋間伊広居—仁豊野間 11.3km である。

長岡市のトロリーバス

郊外交通の割に市内交通が不便な同市で之を緩和せんとするものである。路線は千手横町—藏王町間大手通—同 1 丁目間 3.6km である。

東京都のトロリーバス

都の環状線街路整備と共に環状路面交通の強化と江東地区の都心への交通の利便の為計画されたもので

今井橋—小松川橋—龜戸駅前 6.7km

龜戸駅前—一言問橋—鶯谷—上野公園 8.8km

龜戸駅前—三ノ輪—王子—四谷三光町

一汐谷—中目黒—五反田—品川駅前 32.3km

この内今井橋—龜戸駅前—上野公園間 15.5 km は本年 10 月頃開業の予定である。

○第3回国土建設週間実施要領

建設省では例年の通り、都道府県と共に各官庁、報道機関の後援、関係団体の協賛の下に、7月4日から10日まで「国土建設週間」を実施する。

今年には水防法施行3周年にも当るので、その記念の意味も含めて特に盛大にする意向である。

1. 趣旨 文化日本を建設するためには国土全体を我々の手で愛護し、各人の協力で建設の諸事業を推進しなければならない。この見地から我々は一昨年「国土建設週間」を催し、以来2ヶ年、建設の事業は漸く軌道にのり、仕事は着々と進んだ。本年もまた7月10日建設省設置の日を中心に第3回「国土建設週間」を実施し、広く一般の国土建設への深い理解と高い関心とが明日の建設への原動力となることを期待する。

2. 執行機関 主催 建設省、地方公共団体、後援 関係各省庁、GHQ、新聞社、日本放送協会、協賛 関係団体

3. 期間 昭和26年7月4日(水)ー7月10日(火)7日間

4. 実施行事

◇展覧会◇

A 第1会場

1. 名称 進む国土建設展
2. 会場 三越本店
3. 期日 7月10日より19日
4. 展示物

(1) 本省製作のもの

河川、道路都市、住宅に関する諸問題を写真をもととして説明したもの

(2) 参考資料

- a) 各地方建設局の出品、業務紹介その他
- b) 住宅金融公庫、業務及び手続の紹介その他
- c) 関係団体、業者の出品

(註)本展は東京終了後、地方へ巡回するものとする

(3) 特別資料

CIEよりの特別出品の予定

B 第2会場

建設機械の実物展示

場所 日比谷公園内広場
期間 7月4日より10日

◇建設祭◇

1. 会場 日比谷公会堂
2. 期日 7月10日(火)午後1時より
3. 入場 無料

4. 内容

(1) 第1部 (イ)挨拶 建設大臣(ロ)講演 学識経験者

(2) 第2部 表彰式

(3) 第3部 アトラクション

(註)河及び水防の歌の発表を行う予定。

◇建設機械による道路補修工事の実施◇

第1班 東京都江戸川、葛飾、足立区方面

第2班 同練馬、杉並、中野、世田谷区方面

(註)東京都と協力一関東地方建設局よりグレン

ーダー各班2台出動、延112キロ施工の予定

◇建設現場自動車見学◇

1. 見学行程 東京・小田原間(道路、道路施設道路工事、建設機械その他を見学)

2. 期日 7月5日

3. 見学参加者 東京都新制中学校生徒150名及び先生説明者50名計200名(東京都教育庁を通じて選定)

4. 見学記 優秀作品に授賞

◇模範水防演習の実施◇

1. 場所 神奈川県相模川筋

2. 期日 週間期間中

3. 演習参加者 相模川地元水防団員並びに県下水防団代表

(註)神奈川県と共同実施

その他地方では各地の実情に即した行事を実施する予定である。

○日本国土開発株式会社の設立

去る4月9日栗栖越夫氏を取締役社長に、資本金1億円を以て設立された同社は、政府の国土総合開発計画の実施に協力する事を主眼目として、その建設工事の機械化を強力に実現する事を目的としている。従つて当社は工事又は機械の独占を目的とするものでなく、その事業の内容は次の通りである。

1) コンサルティング・エンジニア業務の開始

官庁及び建設業者の工事設計、貿易業者の輸出プラントの設計、検査等においてすべての機関が技術全般にわたるエンジニア・スタッフを所有する事は不可能であるから、米国に発達したコンサルティング・エンジニアの業務を当会社に於て創始し、有能技術者の総合活用をはかる。

2) 建設機械の賃貸業務

建設機械保有会社の設立が痛切に希望されている現状であるから、当社は米国及び日本国内の建設機械メーカーと密接な連携を保持し、特別の信用と技術的な理解とに基づいて優良機械を廉価に取得し、官

庁又は一般建設業者等に機械の賃貸を行う。

3) 機械を必要とする工事の請負

建設業者の請負工事又は官庁の直営工事に於て特に当会社に機械化作業を要望される場合、その請負工事を実施する。又建設工事機械化の補導促進の為に機械化工事のモデルプラントを計画実施する。

4) 建設機械の仲介、修理、技術者の養成

前項の事業を円滑に行う為に会社は優良建設機械の仲介をなし、専門の技術と設備を有する修理工場フオアメン・オペレーターの養成機関及び必要とする地域にモータープールを経営する。

○渡米者について

当会会員中、運輸省鉄道監督局及び日本国有鉄道関係より次の3氏が、約3ヶ月の予定をもつて渡米することに決定し準備中のところ5月下旬より6月初旬にかけて相次いで出発された。

運輸省鉄道監督局国有鉄道部施設課長 宮沢吉弘

(アメリカ合衆国における踏切施設等の保安施設、電化施設及び技術管理経営の調査)

日本国有鉄道輸送局設備課長 滝山 養

(貨物操車場及び貨物駅における各種貨物取扱施設の調査研究)

日本国有鉄道施設局計画課 柴田元良

(アメリカ合衆国における鉄道施設の保守管理組織の調査研究)

去る5月上旬より約5ヶ月間米国に於て道路講習会が開催されているが、我国からは高木健(福岡県土木部道路課長)河北正治(建設省道路局補修課)の両氏が夫々渡米した。

尚東京大学教授最上武雄博士はアメリカに於ける土質工学を研究する為5月16日横浜を出航渡米されたが期間は約3ヶ月の予定である。

その外米国マサチューセッツ工科大学(MIT)に於ける3ヶ月の夏期講習会に出席するため、東京大学講師渡辺隆氏も5月20日出発、このところ土木関係における渡米者は非常に活潑な動きを示している。

○新電力会社陣容成る

電力再編成案により去る6月1日から発足した9電力会社の主要人名の内、土木関係者の氏名が判明したのでここに発表する。頁数の関係上課長以下は省略することとした。

北海道電力株式会社

土木部長(理事): 岩本常次, 計画課長: 中村俊雄
工事課長: 大橋康次, 水路課長: 稲垣茂雄

東北電力株式会社

土木部長兼建設局長: 平井彌之助, 土木次長兼土木課長: 大官利右衛門, 水路課長: 近藤武馬, 土木建設部長: 北松友義, 土木建設次長: 矢崎道美
土木計画課次長兼副長: 野田安治, 土木工事課長: 後藤和介

只見川開発事務所長: 北松友義, 土木課長: 吉田策造, 副長: 高橋武正

東京電力株式会社

建設部長: 新原武雄, 次長: 土屋龍夫, 堀 貞治
建設工務課長: 山岡包郎, 発電計画課長: 水越達夫, 土木課長: 鈴木 勇

土木部長: 川畑整理, 次長: 高橋泰介, 第1水路課長: 高橋泰介, 第2水路課長: 戸田 茂

北陸電力株式会社

土木部長(常務取締役): 白石方亮, 次長: 大林士一, 土木課長: 高木良一, 建築課長: 森井一夫
建設部長(理事): 荒井武治, 次長: 鶴飼孝造, 計画課長: 和田清吉, 土木建設課長: 和田芳平

中部電力株式会社

施設部長: 加藤敏郎, 土木技師長: 和久英雄, 計画課長: 渡辺時也, 土木工事課長: 大橋健一, 水路課長: 吉田重治, 開発本部長: 石川栄次郎, 次長: 中村 宏

関西電力株式会社

土木部長: 目黒雄平, 次長: 友岡正介, 竹中 徳
水路課長: 堀田正也, 水力計画課長: 野瀬正儀,
工事課長: 東 正久

中国電力株式会社

土木部長: 近藤正雄, 次長: 林 重之, 味莖 稔
計画課長: 山本三男, 水路課長: 林 重之, 土木工事課長: 原文太郎

四国電力株式会社

土木部長: 山田勝則, 次長: 大野謙三, 計画課長: 小沢章三, 工事課長: 浅尾 格

九州電力株式会社

土木部長: 熊川信之, 次長: 森 賢, 計画課長: 早野周三, 工事課長: 田代信雄, 水路課長: 山下喜八